

計測システムの開発 事例

実用性を重視した過不足ない開発だから“ちょうどいい”

システム開発となると大がかりな内容になりがちですが、レックスでは現場の声をお聞きして過不足ない形での開発が実施可能です。レックス社での対応に加え、多数メーカーや協力会社と連携した開発実績もございます。

CASE 01

タイヤ洗浄監視システムの開発

～カメラ判定によるタイヤ汚れを見える化し、道路汚れをゼロに～

要望 工事現場からダンプ車両が出る際に、タイヤに付着した泥や汚れが道路に落ちてしまい、近隣住民からクレームが寄せられるケースが様々な現場で発生している。

解決 タイヤ洗浄機の周囲にカメラを設置、撮影している映像より汚れの度合いを色判定し、タイヤの洗浄具合を自動計測できるシステムを開発。車両が洗浄機に侵入した際に、ナンバーを読み取り、自動で計測開始。



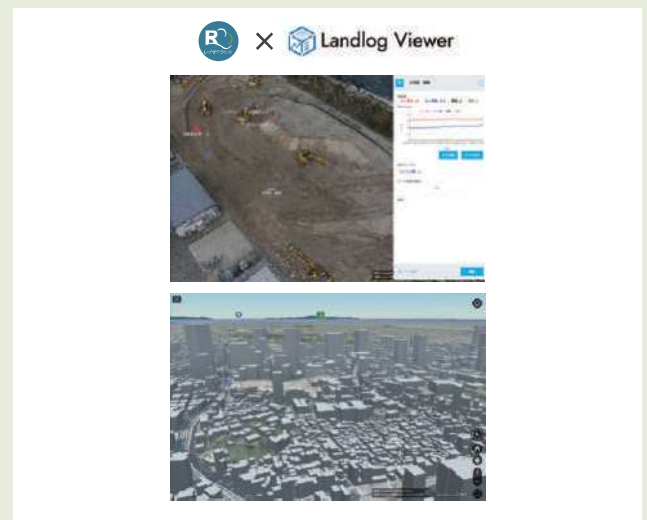
CASE 02

現場計測データの一元管理を実現

～3Dモデルと計測データをまとめて見える化、BIM/CIMも対応～

要望 BIM/CIM、i-constructionに対応して、現地の計測データやWEBカメラなどのデータを一元管理したい。

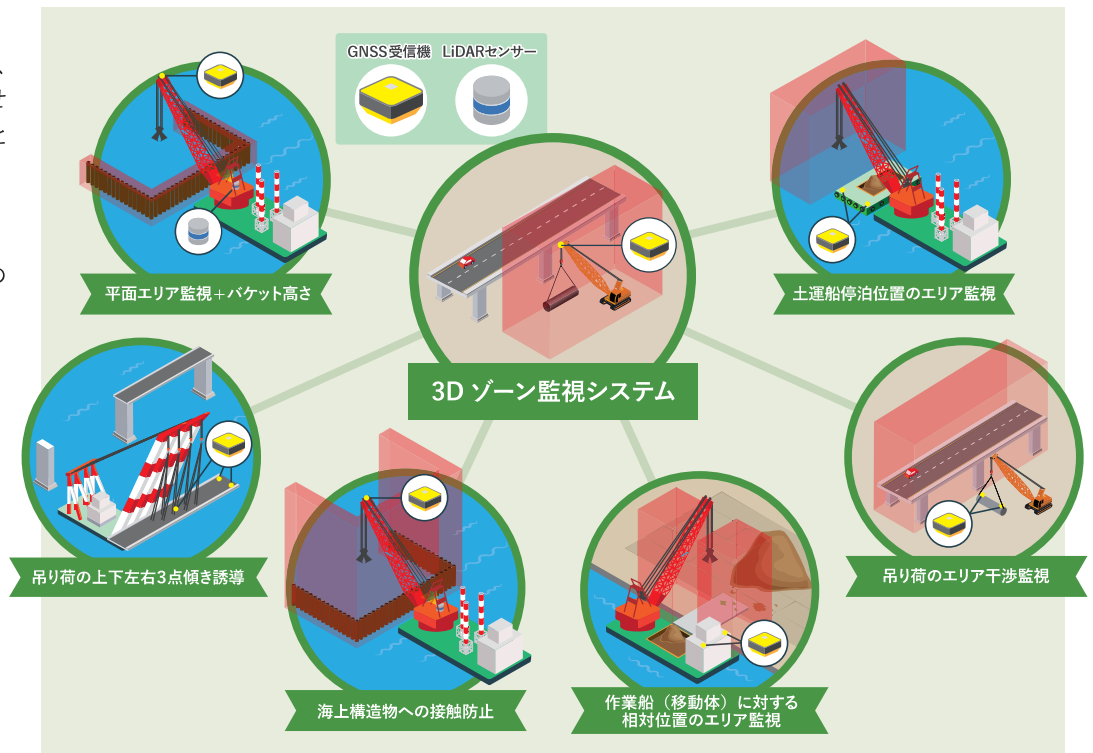
解決 弊社開発のレグゼクラウドと株式会社EARTHBRAINのLandlogViewerを連携することで、BIM/CIMモデルを重ね合わせた3次元モデルを統合可視化出来る3DGISサービス内に計測データの連携が可能。



自社で開発を行っているからこそ、一つの開発製品をご要望に合わせて多種多様な用途に対応させることも可能です。

3次元でエリア監視を行う
「3Dゾーン監視システム」の
事例をご紹介します。

3Dゾーン監視システムはあらかじめ指定した施工エリア外の領域に立入った場合や、指定エリアから退避した場合、速やかに警告を発令、危険を告知するシステムです。クレーン等のブームの旋回時安全管理や、台船や重機などの移動物の侵入監視に活用されています。



開発製品以外も含めた計測システムの一覧はこちら

